



石神小だより

7月号 令和3年7月1日発行

352-0033 新座市石神1-10-20

Tel 048(477)2152

Fax 048(482)6797

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-ishigami>

体験活動から学びを深める

校長 佐久間 幸代

B棟3階のひさしの下に、つばめが巣を作っていました。気づいたのは、ゴールデンウィークが明けたところで、「つばめが飛んでいるな。どこに巣があるのかな。」と思いながら、校内を見回っていました。あるとき、「ピーピー」とひなが鳴く声が聞こえ、巣を発見するに至りました。

6月に入り、いつの間にかひなの声が聞こえなくなりました。そして巣から鳥の影がなくなりました。

ひなたちが成長し、巣立っていく。つばめは、比較的短時間でそのときを迎えますが、私たちは、長い時間をかけて、なるべく多くのことを身に付けさせて、社会へと巣立たせていかなければなりません。

社会が大きく変化をする現代において、教育の中でも変わらなければならないことと変わってはいけないことをしっかりと見極め、ずっと先の社会への巣立ちの日をゴールとして、必要な力を身に付けさせていきたいと思えます。

登下校時の安全

朝から湿度が高く、日差しの強い日が増える7月。マスクの着用による暑さの対応が難しくなります。昨年度同様、登校時は、ご家庭でマスクの着用の判断基準を示し、マスクを着用していない場合の登校の仕方をご確認ください。下校時は、各担任でもマスクやマナーについて、声掛けをしていきます。また、下校時に、道幅いっぱい広がって、地域の方の通行に支障が出た等のご連絡もいただいております。話し声や歩き方についても、指導を継続しているところです。

地域の一員として、マナーを守り、熱中症、感染症、事件、事故から身を守るとともに、地域の方々の安全も視野に入れた行動をとることができるよう、学校と家庭で連携した指導を継続し、安全な夏季休業にしていければと考えています。

令和3年度の6年生にしか体験できないことを

2年ぶりの水泳学習は、5年生がスタートとなりました。プールサイドや更衣室での密を避けるため、全学年学級ごとに入水しています。指導に当たる教師も限られているため、1学級があがると次の学級が入水となります。学年全員で入っていた2年前のような待ち時間はほとんどありません。時間は短いようですが、とても充実しているようです。

小学生は、話を聞いて考え学ぶことと、実際にやってみて体全体を使って学ぶことが、バランスよく行われることで、様々なことを吸収し、成長していきます。昨年度は、残念ながら、感染症拡大防止のため、様々な活動や行事が中止となってしまいました。今年度は、なるべく多くの体験活動を行うことができるよう、準備を進めているところです。

まず第1弾として、昨年度林間学校を体験できなかった6年生のために、林間学校代替行事を夏休み中に行います。宿泊に行くことはできませんが、林間学校でしか体験できない、キャンドルを使った内容を検討しています。6年生の保護者の皆様には、懇談会でご連絡いたしますが、残念な思いをしている6年生に、令和3年度の6年生にしか体験できない夏の1ページになるよう願っています。(SDGs 4)

